

第4章 公共交通のニーズ

4-1 住民ニーズ（アンケート調査結果より）

4-1-1 調査の概要

○住民の通院・買物先や移動頻度・時間帯、利用公共交通の状況等を把握するとともに、運転免許の返納意向や今後の交通施策に対する考え方等を把握し、本計画策定の基礎資料とするため、以下のように住民アンケート調査を実施した。

表 28 住民アンケート調査概要

項目	内容
調査方法	○各自治体の人口・世帯数（R2 年国勢調査）按分に基づき配布枚数を決定し、地理的な偏りが生じないように配布地域を選択。 ○選択した配布地域内で無作為抽出により配布先を決定し、調査票を郵送により配布・回収。
実施時期	○令和6年3月
回収率	○6,000 枚配布に対し、2,445 件回収。回収率 40.8%

4-1-2 通勤

（1）通勤手段

○通勤手段が「JR 山陰本線」との回答が 2.2%、「路線バス（日ノ丸・日交）」が 4.0%、「町営バス（琴浦・三朝）」が 0.5%と公共交通利用者は少なく、ほとんどは自家用車通勤となっている。

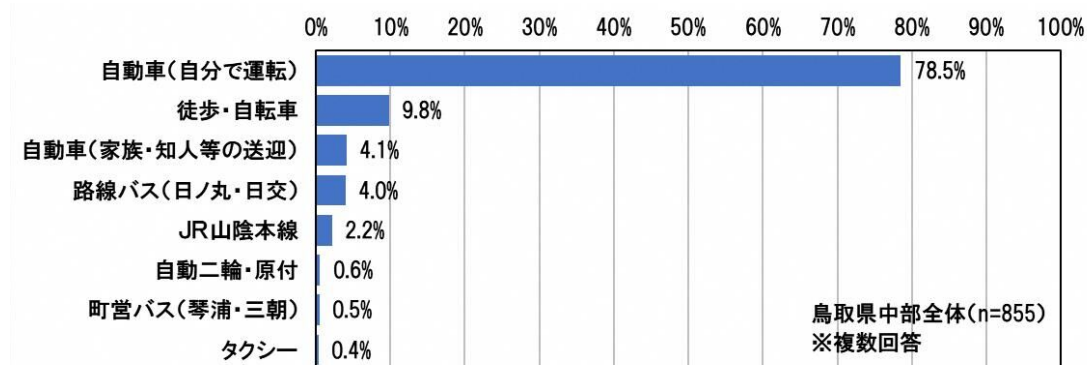


図 40 通勤の交通手段

（2）公共交通利用者の属性

○公共交通を利用して通勤していると回答した人の年代では 50 代～60 代が多く、約 7 割は免許を保有し、女性の割合が若干高くなっている。

表 29 公共交通を利用した通勤者の属性

年代（n=52）		免許の有無（n=52）	
20 代	5.8%	免許証あり	69.2%
30 代	11.5%	免許証なし	30.8%
40 代	15.4%	計	100.0%
50 代	21.2%		
60 代	32.7%	性別（n=52）	
70 代	9.6%	男性	44.2%
80 歳以上	3.8%	女性	55.8%
計	100.0%	計	100.0%

(3) 出勤・退社時間

○通勤手段に公共交通を利用すると回答した方のうち、出勤時間は「8 時より前」が約 7 割あり、帰宅時間は「16 時～18 時台」の割合が最も高くなっている。



図 41 公共交通利用者の出勤・帰宅時間帯

4-1-3 通院

(1) 通院先

○市町別の通院先の回答で多かったところは、以下のとおりである。

表 30 主な通院先(各市町上位5か所)

倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
鳥取県立厚生病院	三朝温泉病院	垣田病院	岡田医院	鳥取県立厚生病院
野島病院	鳥取県立厚生病院	鳥取県立厚生病院	赤碕診療所	河本医院
垣田病院	吉水医院	土井医院	赤碕内科外科クリニック	垣田病院
西倉吉クリニック	野島病院	のぐち内科クリニック	森本外科・脳神経外科医院	野島病院
新田内科クリニック	湯川医院・垣田病院	みはらクリニック	鳥取県立厚生病院	もりした内科クリニック

(2) 通院の交通手段

○通院時の利用交通手段は「自動車（自分で運転）」を挙げる割合が最も高く、公共交通については「路線バス（日ノ丸・日交）」が 7.6%、「町営バス（琴浦・三朝）」が 1.0%、「JR 山陰本線」0.9%と低い値になっている。

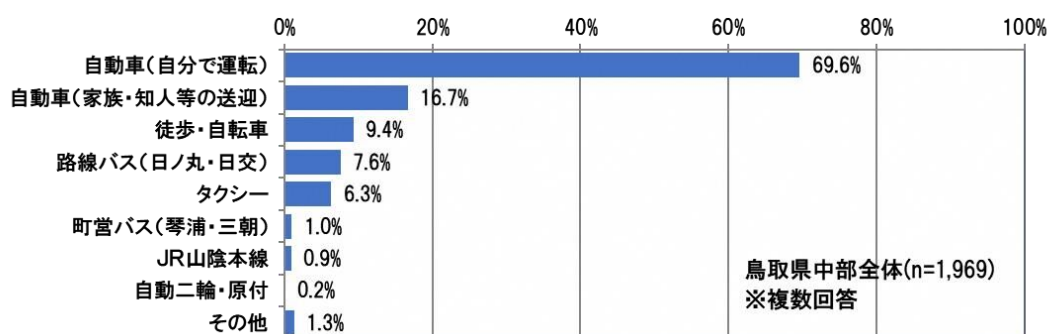


図 42 通院の際の移動手段

(3) 通院頻度

○通院の頻度としては、全体的に「月に1日」を挙げる割合が最も高い。「月に2～3日」の割合は全体よりも公共交通利用者の方が高く、公共交通利用者の方が通院頻度は高くなっている。

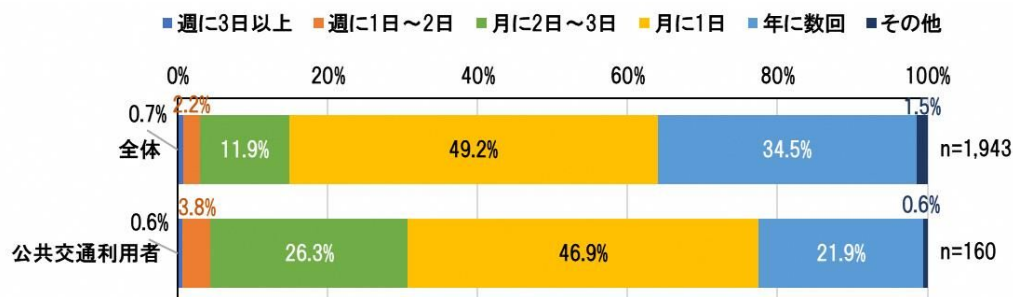


図 43 通院頻度の比較

(4) 移動時間帯

○通院に公共交通を利用する回答者の集計で、通院で家を出る時間としては「8時～9時台」を挙げる割合が最も高く、帰宅時間としては「12時～15時台」を挙げる割合が最も高い。

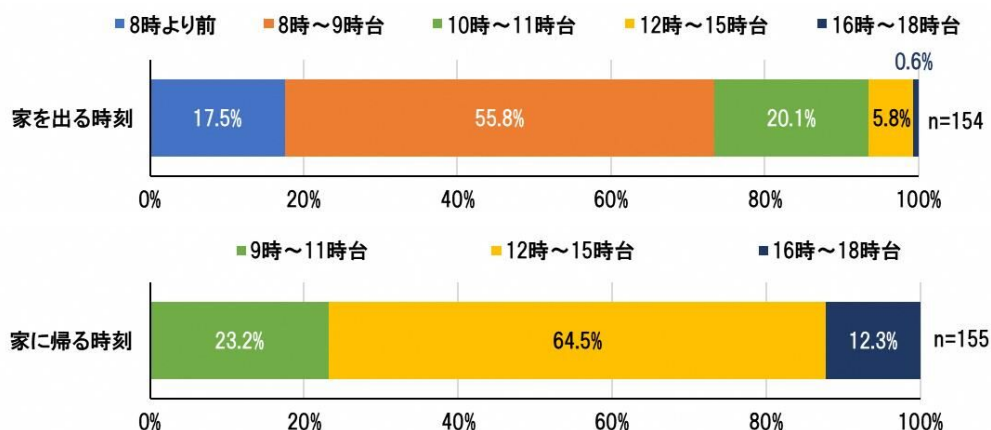


図 44 公共交通利用者の通院時間帯

(5) 医療機関アンケート概要

○住民アンケートの結果、特に通院先として回答が多かった医療機関に対し、以下のとおりアンケートを実施した。

表 31 医療機関アンケート調査概要

項目	内容
調査方法・内容	○住民アンケートで特に通院先として回答が多かった医療機関を市町別に選定の上、調査票を郵送により配布・回収。各医療機関の概況、往診や送迎サービスの有無、各機関における公共交通利用環境等について質問を行った。
実施時期	○令和6年7～8月
回収率	○医療機関 21 機関に配布し、19 機関から回答。回収率 90.5%
回答概要	○通院される方の多くは 50 代以上。来院時間は 9 時～12 時の午前中が多くなっている。 ○医療機関がある市町内を中心に、往診や在宅サービスを行っているところが 11 機関、送迎サービス（駅まで、送りのみなどの条件付きを含む）を行っているところが 9 機関 ○意見として、患者は高齢者が多く、特に独居の方は公共交通機関がないと通院が難しい、帰りの時間帯にバスがなく、診療時間とリンクしない、タクシーが少なく予約が取りづらいといった声があった。また、院内に設置しているデジタルサイネージ上での公共交通の案内は可能という回答もあり、公共交通と連携した取組につながりそうなものも見受けられた。

4-1-4 買物

(1) 買物先

○市町別の買物先の回答で多かったところは、以下のとおりである。

表 32 主な買物先(各市町上位5か所)

倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
パープルタウン	マルイ上井店	新あじそうハワイ店	トライアル琴浦店	東宝ストア由良店
ダイレックス西倉吉店	パープルタウン	まるごう羽合店	アパート	東宝河北 PLAZA
東宝ストア西倉吉店	みさきサントマト	パープルタウン	東宝ストア赤碓店	新あじそうハワイ店
東宝河北 PLAZA	プチマルシェシンドウ	ダイレックス湯梨浜店	トピア（閉店）	ダイレックス湯梨浜店
マルイ上井店	ローソン三朝温泉店	コスモス湯梨浜店	コスモス琴浦店	トライアル琴浦店

(2) 買物の交通手段

○買物時の利用交通手段としては「自動車（自分で運転）」を挙げる割合が75%あり、公共交通としては「路線バス（日ノ丸・日交）」4.5%、「町営バス（琴浦・三朝）」1.0%、「JR 山陰本線」0.7%となっており、通院の場合より「路線バス（日ノ丸・日交）」の割合が若干下がっている。

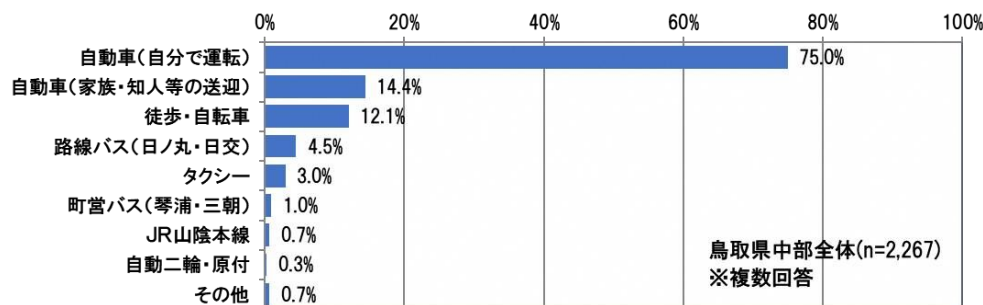


図 45 買物の際の交通手段

(3) 買物頻度

○買物の頻度としては全体的に「週に1日～2日」を挙げる割合が最も高い。「月に2～3日」の割合は全体よりも公共交通利用者の方が高く、通院頻度とは逆に公共交通利用者の買物頻度は低くなっている。

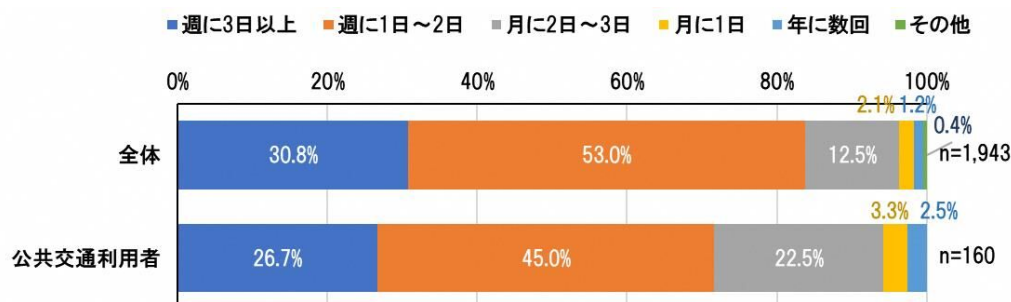


図 46 買物の頻度

(4) 買物の時間帯

○買物に公共交通を利用する回答者の集計で、買物で家を出る時間としては「10 時～11 時台」を挙げる割合が最も高く、帰宅時間としては「12 時～15 時台」を挙げる割合が最も高い。



図 47 公共交通利用者の買物の時間帯

(5) 商業施設アンケート概要

○住民アンケートの結果、特に買物先として回答が多かった商業施設に対し、以下のとおりアンケートを実施した。

表 33 商業施設アンケート調査概要

項目	内容
調査方法・内容	○住民アンケートで特に買物先として回答が多かった商業施設を市町別に選定の上、調査票を郵送により配布・回収。各商業施設の概況、配達サービス等の有無、各施設における公共交通利用環境等について質問を行った。
実施時期	○令和6年7～8月
回収率	○商業施設 19 施設に配布し、9 施設から回答。回収率 47.4%
回答概要	○平日の日中に来店される方は 50～80 代の女性が多く、夕方は男性の来店も増える。土日は夫婦や家族連れも多い。来店時間のピークは午前が 11～12 時頃、午後は 16～18 時頃。 ○来店時の移動手段として、自家用車での来店率が 60～90% と非常に高くなっており、商業施設の立地にもよるが、公共交通での来店率は 20% 以下との回答だった。 ○移動販売を実施しているのは 1 施設、移動販売や宅配サービスの実施検討中が 1 施設、送迎サービスを実施している施設はなかった。 ○公共交通に関する取組では、店内にバス時刻表を掲示したり、タクシー予約をするといったものも多く、公共交通利用者の待合を設けている施設が 1 施設あった。 ○意見として、商業施設とバス停がもう少し近くなれば、年配の方のバス利用が増えるのではないかと、近所の方同士で声をかけてタクシーに乗り合っていたなどとの取組が必要ではないかと、との回答があった。

4-1-5 公共交通の利用状況

(1) JR 山陰本線

○JR 山陰本線を普段利用していると回答した人は全体の 8.4%であり、JR 山陰本線が通過していない三朝町では 2.9%にとどまっている。

○JR 山陰本線に関する改善要望事項としては、「運行本数を増やす」「今のままの運行でよい」「快速列車の運行」「運賃・料金を安くする」「通勤・通学に使えるダイヤにする」「キャッシュレス決済を導入する」「最終列車を遅くする」等の順となっている。

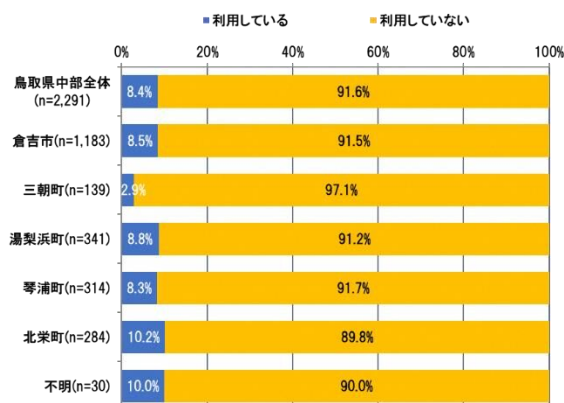


図 48 JR 山陰本線利用の有無

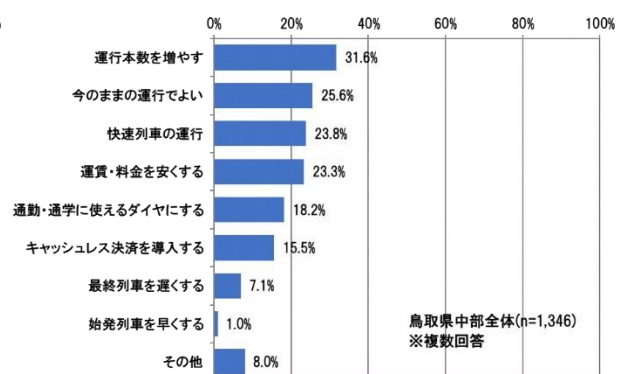


図 49 JR 山陰本線に関する改善要望事項

(2) 路線バス

○路線バスを普段利用していると回答した人は全体の 12.8%であり、これを市町別にみると倉吉市の住民の割合が他の市町に比べて高くなっている。

○路線バスに関する改善要望事項としては、「便数を増やす」を挙げる割合が最も高く、「運賃を安くする」「通勤・通学に使えるダイヤにする」「今のままの運行でよい」「乗り降りしやすい車両にする」「キャッシュレス決済を導入する」等と続いている。

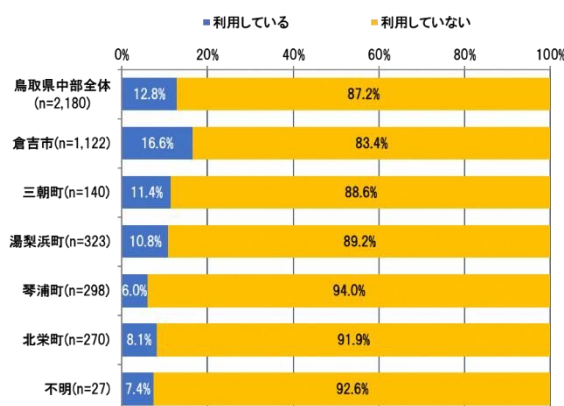


図 50 路線バス利用の有無

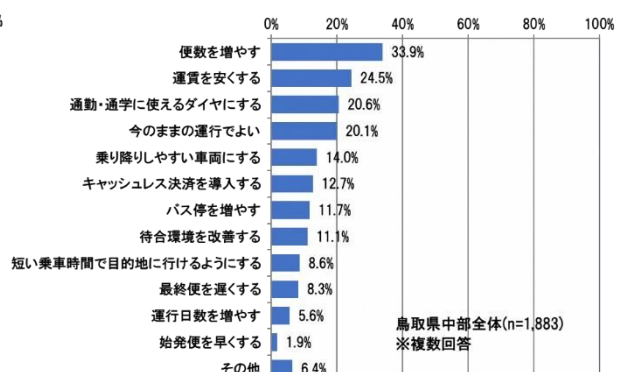


図 51 路線バスに関する改善要望事項

(3) タクシー

○タクシーを普段利用していると回答した人は全体の 14.6%であり、その比率は倉吉市で高く、琴浦町で低くなっている。

○タクシーに関する改善要望事項としては、「タクシー運賃助成事業のサービス拡充」を挙げる割合が最も高く、次いで「定額制の乗り放題サービスの導入」「早朝や深夜の運行」「スマートフォ

ンのアプリ等による予約受付」「バリアフリーに対応した車両の導入」「キャッシュレス決済への対応」の順となっている。

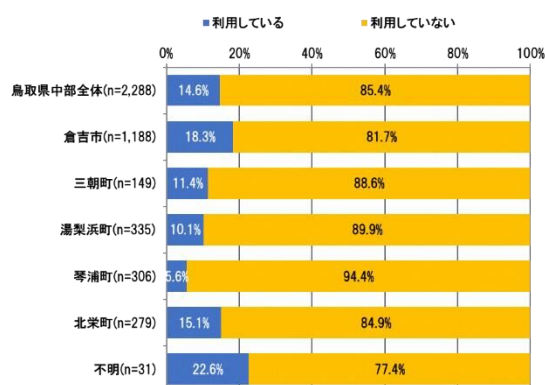


図 52 タクシー利用の有無

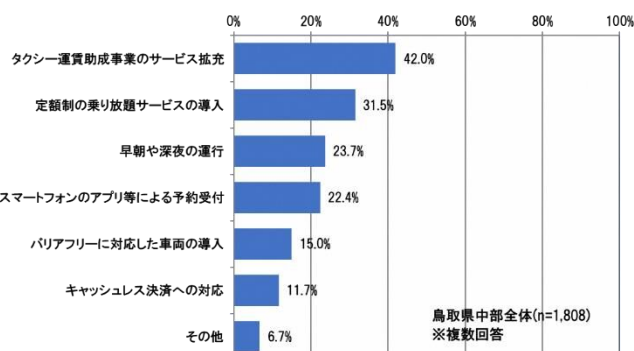


図 53 タクシーに関する改善要望事項

4-1-6 免許返納・公共交通施策について

(1) 運転免許証の自主返納についての考え方

○「1年以内に、運転免許証を自主返納しようと考えている」と「5年以内に、運転免許証を自主返納しようと考えている」を合わせると約2割が免許返納を考えているのに対し、「運転免許証の自主返納は必要だと感じているが返納できないと考えている」と「運転免許証を自主返納する必要はない」と合わせると、約7割は免許返納を考えていない。

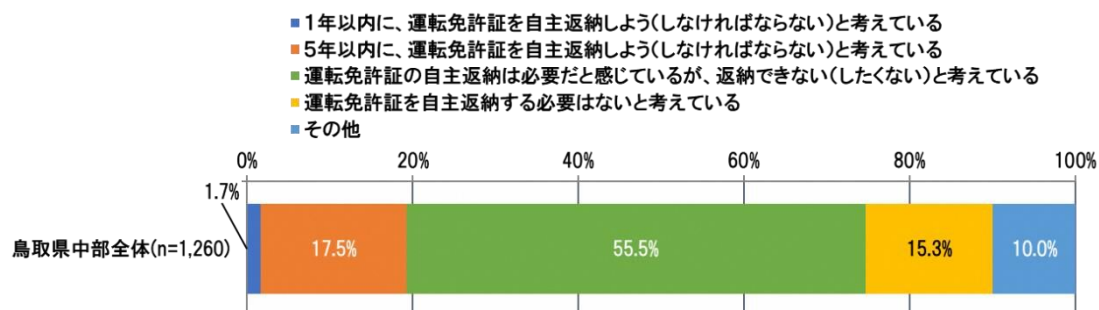


図 54 免許の自主返納についての考え方(60代以上の集計)

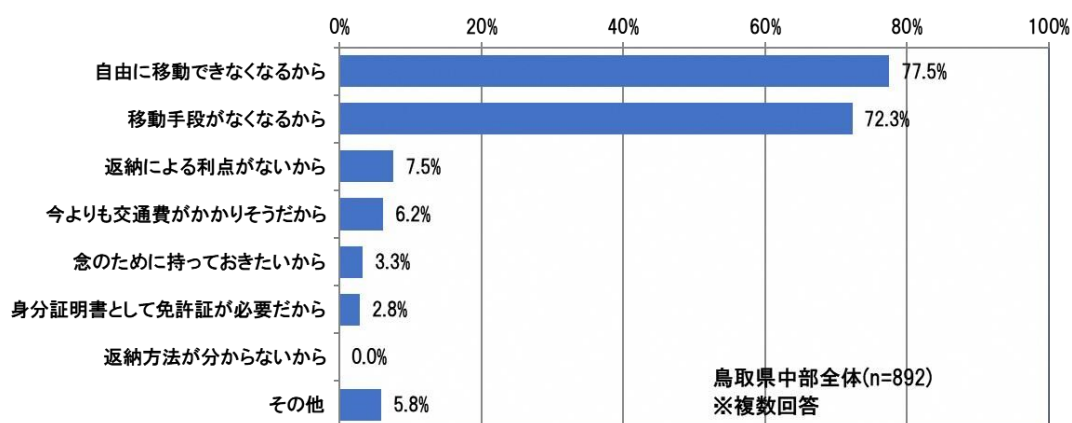


図 55 運転免許の返納ができない(したくない)理由(60代以上の集計)

(2) 公共交通のサービス水準の考え方

○「現状のサービス水準を維持すべき」との回答が最も高く、次いで「サービス水準が下がってもやむを得ない」、「わからない」、「サービス水準を向上させた方が良い」、「その他」の順となっているが、「その他」以外は各回答間に大きな差がない。

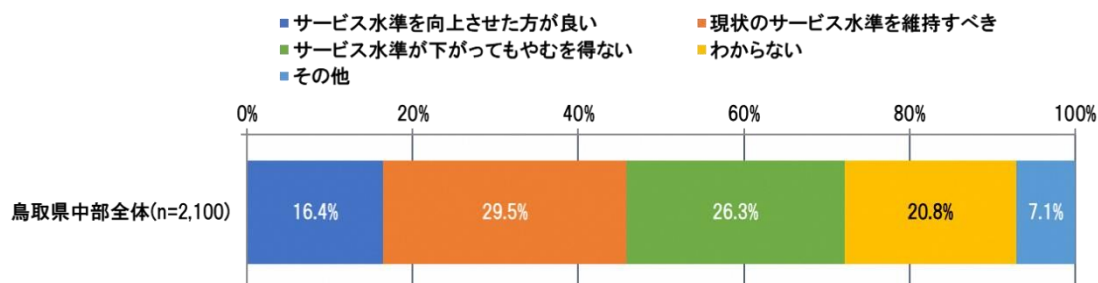


図 56 公共交通のサービス水準の考え方

(3) 今後の交通政策の方向性

○「乗継が増えても利用しやすい公共交通への見直し」が最も割合が高く、次いで「従来通りの鉄道や路線バスの維持」、「運賃割引や定額運賃の設定など運賃制度の工夫」、「待合環境の改善や運行状況等の情報提供の充実」、「キャッシュレス決済や共通定期券等の導入」等の順となっている。

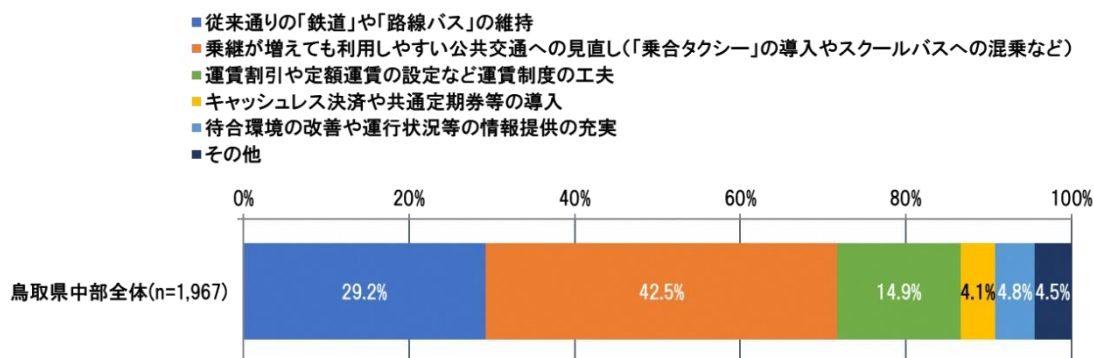


図 57 今後の交通政策の方向性

4-2 関金地区のまちづくりに関するアンケート調査

4-2-1 調査の概要

○倉吉市の関金地区において、エネルギーと公共交通を基軸とした「関金地区版シュタットベルケ」の構築に向けて、地域住民の交通・買物・エネルギー利用などに関する実態やニーズを把握し、実証実験内容検討の基礎資料とすることを目的に、以下のようなアンケート調査を行った。

表 34 関金地区のまちづくりに関するアンケート調査の概要

項目	内容
調査方法	○令和5年11月末の世帯情報をもとに、関金地区全世帯（1,304世帯）に調査票を郵送により配布・回収。
実施時期	○令和5年12月～令和6年1月
回収率	○1,304枚配布に対し575件回収。回収率44.1%

4-2-2 日常の移動手段

○日常の移動手段は関金地区全体、65歳～79歳の集計ともに「自分で運転する自動車」との回答が8割以上を占めているが、80歳以上では53.4%と低い割合となっている。

○65歳以上の集計では「鉄道」を挙げる割合が1%以下と全体集計よりも低くなっているが、「路線バス」との回答は全体集計を上回っており、特に80歳以上で高くなっている。

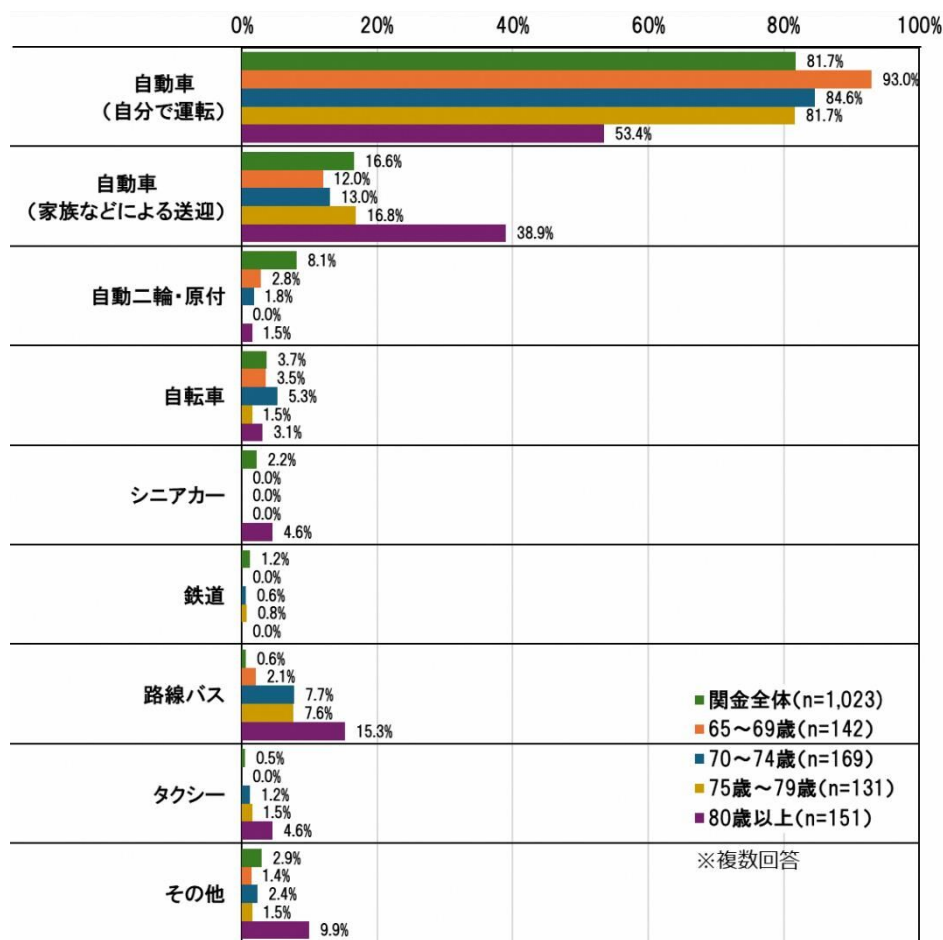


図 58 日常の移動手段

4-2-3 外出頻度

(1) 買物

○買物での外出頻度は高齢になるほど低くなる傾向にあり、80歳以上では「年に数回」「ほぼ出かけない」を合わせると2割程度となる。

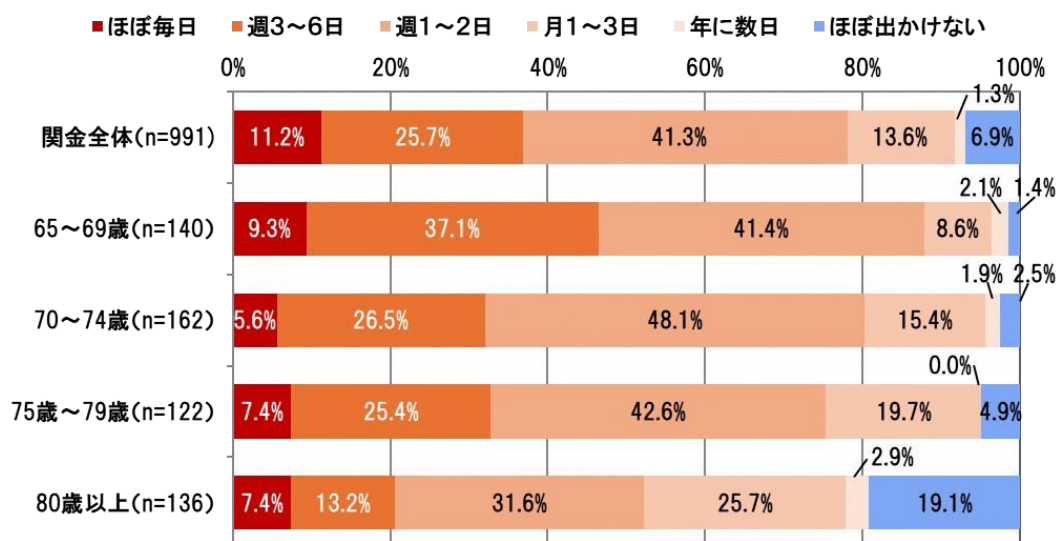


図 59 高齢者の年代別買物頻度

(2) 通院

○通院での外出頻度は高齢になるほど高くなる傾向にあり、「月1～3日」以上の回答割合が8割程度となっている。

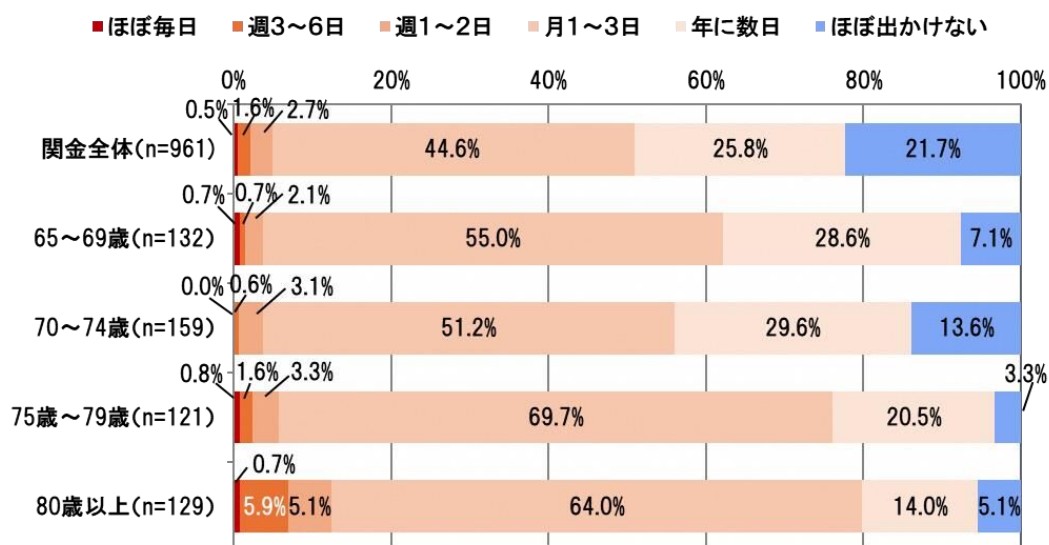


図 60 高齢者の年代別通院頻度

4-2-4 関金線・関金山口線の利用状況

- 「ほぼ利用しない」「今まで一度も利用したことがない」をあわせて 85%が利用していない。
- 利用する人の集計では、通院目的が最も多くなっている。

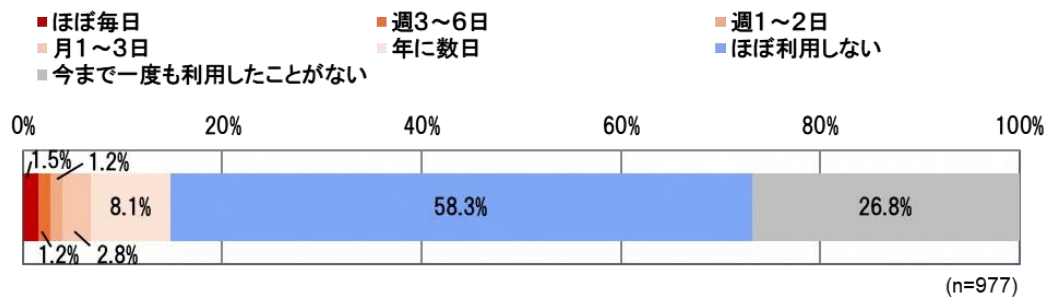


図 61 関金線・関金山口線の利用回数

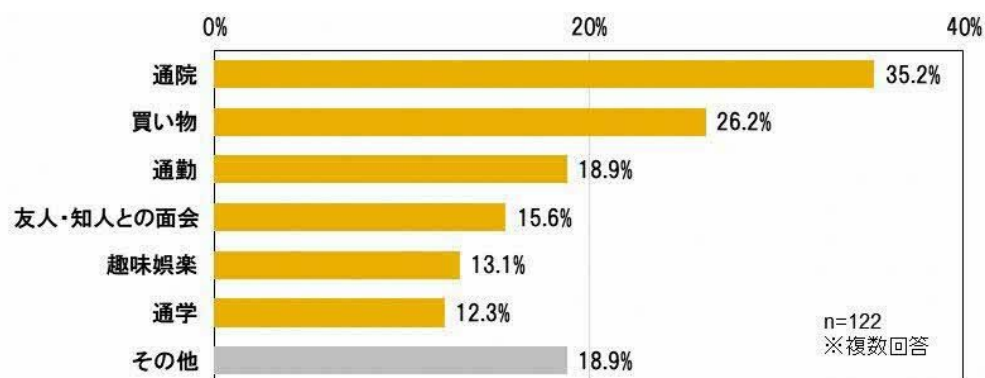


図 62 関金線・関金山口線を利用する人の利用目的

4-2-5 予約型乗合タクシーの利用意向

- 「利用したい」「まあ利用したい」との回答割合は高齢になるほど高くなっている。

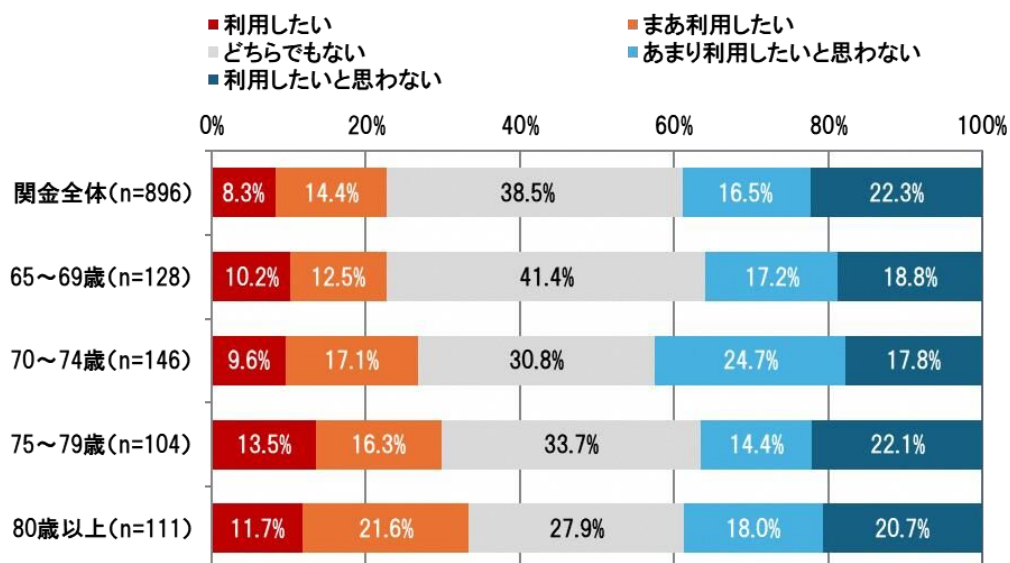


図 63 予約型乗合タクシーの利用意向

4-3 高校生・保護者ニーズ（アンケート調査結果より）

4-3-1 調査の概要

○高校生の通学実態や保護者の自家用車送迎の状況等を把握し、本計画策定の基礎資料とするため、以下のとおり高校生とその保護者を対象としたアンケート調査を実施した。

表 35 高校生・保護者アンケート調査概要

項目	内容
調査方法	○中部地域の高校へ「高校生の通学に関する調査」を実施し、学年別の生徒数等を把握。 ○高校2年生とその保護者を対象にしたアンケート用紙を各高校に送付。 ○各高校を通して配布・回収したものを鳥取県交通政策課で回収。
実施時期	○令和6年1月～2月
回収率	○738枚配布に対し594件回収。回収率80.5%

4-3-2 高校の状況

（1）授業時間等の状況

○各学校の授業時間等の状況は以下のとおりである。

表 36 高校別授業等の時間帯(令和5年11月時点)

高校名		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
		朝練 開始時刻	必修 時刻	授業開始 時刻		試験期間終了時刻				授業終了時刻		早い部活 終了時刻		遅い部活 終了時刻		
倉吉東高校（全日制）			8:25	8:25			12:55			15:20			18:30			
倉吉西高校			8:30	8:55			12:00			15:45			19:00			
倉吉総合産業高校			8:35	9:10			12:00			15:35	16:50		19:00			
倉吉農業高校			8:35	9:10			12:40			15:10	16:50		19:00			
倉吉養護学校				9:00					14:30	15:20	16:20					
倉吉北高校	特別進学	7:00	8:00	8:00			12:00			15:25	17:00		19:30			
	その他		8:30	9:00			12:00			15:25	17:00		19:30			
湯梨浜学園高校			8:50	9:00			12:30			16:00	16:55	17:50	18:30			
鳥取中央育英高校			8:30	8:55		10:50	11:55	13:00		15:40		18:00	19:00			
琴の浦高等特別支援学校				9:20	9:40					15:50	16:10	17:15				
倉吉東高校（定時制）											必着時間	授業開始			試験終了	終了時刻
											17:20	17:35			20:20	21:00

（2）生徒数

○各高校の居住地別生徒数割合を見ると、倉吉東高校（全日制）は9割以上が倉吉市内で、倉吉農業高校、倉吉養護学校、倉吉北高校で倉吉市内の割合が比較的高い。

○鳥取中央育英高校、琴の浦高等特別支援学校、湯梨浜学園高校は倉吉市以外から通学する生徒の割合が他の高校に比べて高い。

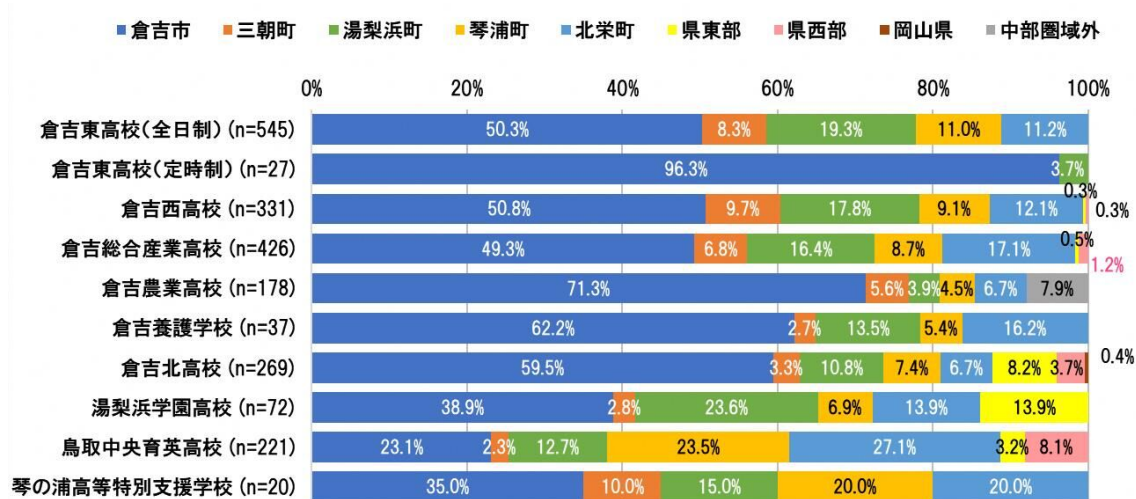


図 64 居住地別生徒数割合(生徒数は令和5年 11 月 1 日現在)

4-3-3 通学の状況

(1) バス通学生徒

- 各高校の居住地別バス通学生割合は以下のとおりである。倉吉市以外から倉吉西高校へ通学する生徒のバス通学の割合が高い。
- 地理的な条件から、三朝町や琴浦町から通学する生徒のバス通学の割合が高くなっている。

表 37 高校別居住地別バス通学生割合

高校名	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	県東部	県西部	中部圏域外
倉吉東高校(全日制)	19.3%	20.0%	31.4%	23.3%	23.0%			
倉吉東高校(定時制)	30.8%							
倉吉西高校	32.7%	59.4%	83.1%	83.3%	62.5%	100.0%	100.0%	
倉吉総合産業高校	12.9%	41.4%	1.4%					
倉吉農業高校	12.6%	20.0%	57.1%	87.5%	16.7%			
倉吉養護学校	39.1%	100.0%		100.0%	16.7%			
倉吉北高校	12.5%	100.0%			66.7%			
湯梨浜学園高校								
鳥取中央育英高校	7.8%							
琴の浦高等特別支援学校	42.9%							

(2) JR 通学生徒

- 各高校の居住地別 JR 通学生割合は以下のとおりである。琴の浦高等特別支援学校や鳥取中央育英高校は全体的に JR 通学生の割合が高く、本地域内では全体的に琴浦町居住者の割合が高い。

表 38 高校別居住地別 JR 通学生割合

高校名	倉吉市	三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町	県東部	県西部
倉吉東高校(全日制)			16.2%	86.7%	21.3%		
倉吉東高校(定時制)							
倉吉西高校			10.2%	96.7%	25.0%	100.0%	100.0%
倉吉総合産業高校			22.9%	73.0%	20.5%	100.0%	80.0%
倉吉農業高校			28.6%	50.0%	16.7%		
倉吉養護学校				100.0%			
倉吉北高校			10.3%	85.0%	16.7%	54.5%	60.0%
湯梨浜学園高校			5.9%			90.0%	
鳥取中央育英高校	76.5%	100.0%	32.1%	90.4%	20.0%	100.0%	100.0%
琴の浦高等特別支援学校	57.1%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%		

(3) 登下校時の移動手段（全回答者の集計）

①登校

○高校生全体では「自家用車で送迎」を挙げる割合が最も高いが、鳥取中央育英高校、琴の浦高等特別支援学校では JR 山陰本線の割合が、倉吉養護学校では路線バスの割合が自家用車送迎を上回っている。

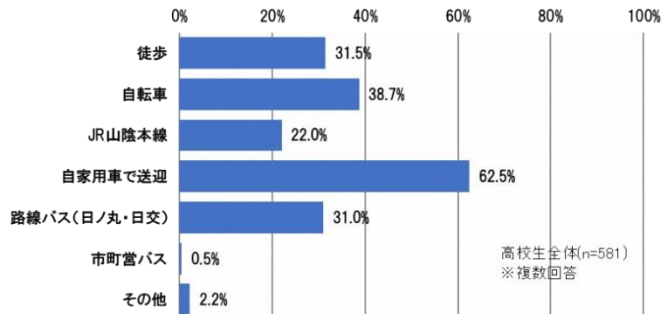


表 39 その他の回答

湯梨浜学園高校スクールバス	10
倉吉養護学校通学バス	1
JR伯備線	1
JR境線	1
計	13

登校時	徒歩	自転車	JR山陰本線	自家用車で送迎	路線バス(日ノ丸・日交)	市町営バス	その他
高校生全体(n=581)	31.5%	38.7%	22.0%	62.5%	31.0%	0.5%	2.2%
倉吉東高校(全日制)(n=164)	23.2%	52.4%	23.8%	78.0%	39.0%	0.6%	
倉吉東高校(定時制)(n=4)	25.0%	75.0%		100.0%			
倉吉西高校(n=110)	30.0%	29.1%	10.0%	63.6%	55.5%		
倉吉総合産業高校(n=112)	19.6%	58.0%	17.0%	66.1%	17.0%		
倉吉農業高校(n=39)	46.2%	17.9%	12.8%	46.2%	25.6%		
倉吉養護学校(n=4)	25.0%			25.0%	75.0%		25.0%
倉吉北高校(n=74)	51.4%	27.0%	8.1%	50.0%	17.6%		
湯梨浜学園高校(n=17)	35.3%	11.8%	23.5%	64.7%			58.8%
鳥取中央育英高校(n=36)	25.0%	5.6%	66.7%	38.9%	13.9%	5.6%	
琴の浦高等特別支援学校(n=21)	81.0%	38.1%	95.2%	28.6%	23.8%		9.5%

図 65 登校時の移動手段

②下校時

○下校時についても登校時とほぼ同じ傾向を示している。

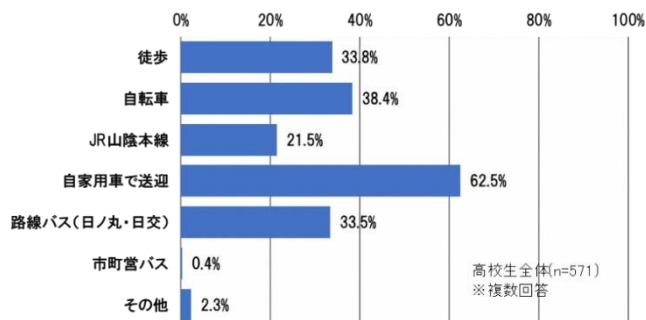


表 40 その他の回答

湯梨浜学園高校スクールバス	9
デイスサービス	3
JR伯備線	1
計	13

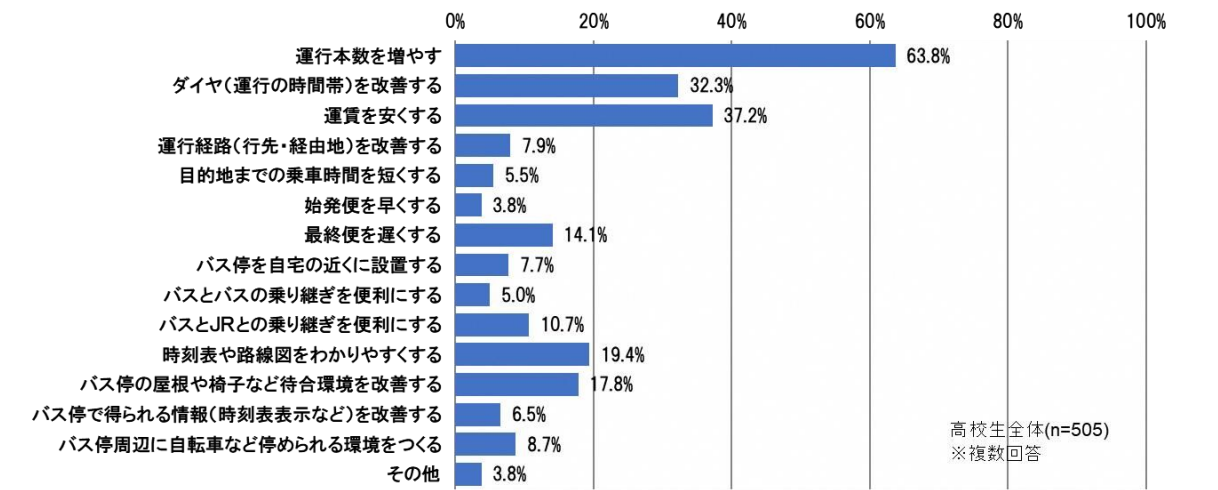
下校時	徒歩	自転車	JR山陰本線	自家用車で送迎	路線バス(日ノ丸・日交)	市町営バス	その他
高校生全体(n=571)	33.8%	38.4%	21.5%	62.5%	33.5%	0.4%	2.3%
倉吉東高校(全日制)(n=164)	28.0%	51.8%	21.3%	76.2%	43.9%	0.6%	
倉吉東高校(定時制)(n=4)	25.0%	75.0%		100.0%			
倉吉西高校(n=107)	29.9%	29.0%	10.3%	64.5%	56.1%		
倉吉総合産業高校(n=110)	25.5%	57.3%	17.3%	63.6%	20.0%		
倉吉農業高校(n=38)	47.4%	18.4%	15.8%	50.0%	31.6%		
倉吉養護学校(n=4)				50.0%			75.0%
倉吉北高校(n=72)	51.4%	26.4%	6.9%	50.0%	20.8%		
湯梨浜学園高校(n=16)	37.5%	12.5%	25.0%	62.5%			56.3%
鳥取中央育英高校(n=35)	28.6%	5.7%	68.6%	40.0%	14.3%	2.9%	
琴の浦高等特別支援学校(n=21)	71.4%	33.3%	90.5%	38.1%	23.8%		4.8%

図 66 下校時の移動手段

(4) 公共交通の改善点

①路線バス

- 路線バスに関する改善要望事項としては「運行本数を増やす」を挙げる割合が最も高く、「運賃を安くする」「ダイヤを改善する」等と続く。
- その他には「時刻表や路線図をわかりやすくする」「バス停の屋根や椅子など待合環境を改善する」「最終便を遅くする」等を挙げる割合が比較的高い。



	運行本数を増やす	改善する(運行の時間帯)を	運賃を安くする	運行経路(行先・経由地)を	目的地までの乗車時間を短くする	始発便を早くする	最終便を遅くする	バス停を自宅の近くに設置する	バスとバスの乗り継ぎを便利にする	バスとJRとの乗り継ぎを便利にする	時刻表や路線図をわかりやすくする	バス停の屋根や椅子など待合環境を改善する	バス停で得られる情報(時刻表表示など)を改善する	バス停周辺に自転車など停められる環境をつくる	その他
高校生全体(n=505)	63.8%	32.3%	37.2%	7.9%	5.5%	3.8%	14.1%	7.7%	5.0%	10.7%	19.4%	17.8%	6.5%	8.7%	3.8%
倉吉東高校(全日制)(n=158)	65.2%	33.5%	29.1%	9.5%	3.2%	3.2%	10.1%	8.9%	4.4%	7.6%	18.4%	22.8%	5.7%	10.8%	5.1%
倉吉東高校(定時制)(n=4)	25.0%		50.0%	25.0%	25.0%		25.0%	25.0%			25.0%	50.0%		50.0%	
倉吉西高校(n=106)	67.0%	34.0%	34.9%	7.5%	4.7%	4.7%	20.8%	6.6%	2.8%	10.4%	17.0%	17.0%	7.5%	8.5%	3.8%
倉吉総合産業高校(n=88)	56.8%	28.4%	53.4%	3.4%	4.5%	2.3%	10.2%	5.7%	5.7%	6.8%	21.6%	9.1%	9.1%	8.0%	2.3%
倉吉農業高校(n=32)	62.5%	40.6%	37.5%	9.4%	6.3%		9.4%	6.3%	12.5%	18.8%	9.4%	9.4%	9.4%	3.1%	3.1%
倉吉養護学校(n=2)	50.0%											50.0%			50.0%
倉吉北高校(n=64)	68.8%	29.7%	37.5%	4.7%	14.1%	9.4%	20.3%	9.4%	4.7%	7.8%	25.0%	21.9%	6.3%	9.4%	3.1%
湯梨浜学園高校(n=13)	46.2%	7.7%	15.4%	7.7%			15.4%	23.1%		30.8%	30.8%	30.8%	7.7%	7.7%	
鳥取中央育英高校(n=24)	79.2%	41.7%	58.3%	12.5%			16.7%			29.2%	16.7%	12.5%		4.2%	
琴の浦高等特別支援学校(n=14)	50.0%	42.9%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	7.1%	21.4%	21.4%	28.6%	7.1%			7.1%

図 67 路線バスに関する改善要望事項

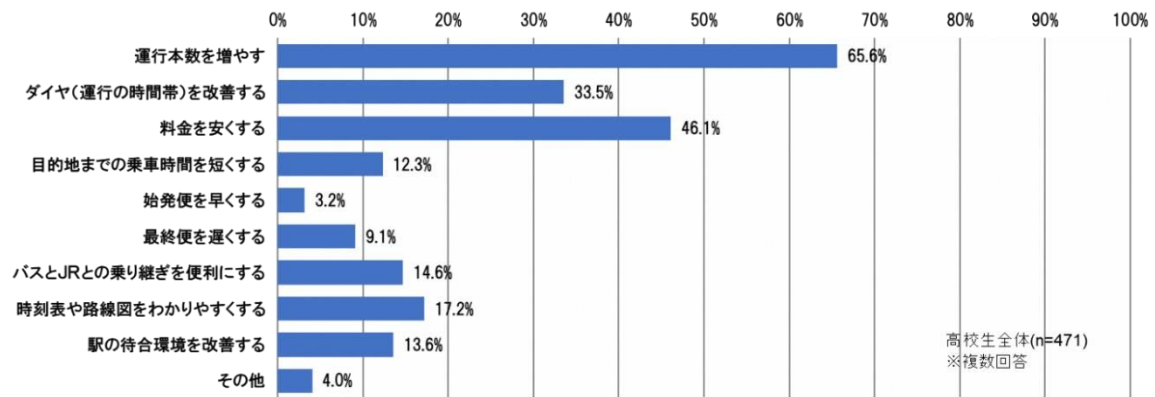
表 41 その他の回答

特になし、利用しないのでわからない	8
一部運転士の接客、運転技術向上	3
学校の近くのバス停に停まる	1
オンデマンド化	1
バスの位置情報確認アプリがほしい	1
JRの時間に間に合う時間のバスを増やす	1
現状維持	1
料金をわかりやすくする	1
土日でも平日並みの本数にしてほしい	1
他市の100円バスのようなものを作る	1
計	19

②JR 山陰本線

○JR 山陰本線に関する改善要望事項としては「運行本数を増やす」を挙げる割合が最も高く、「料金を安くする」「ダイヤを改善する」等と続く。

○その他には「時刻表や路線図をわかりやすくする」「バスと JR の乗り継ぎを便利にする」「駅の待合環境を改善する」等を挙げる割合が比較的高い。



	運行本数を増やす	ダイヤ(運行の時間帯)を改善する	料金を安くする	目的地までの乗車時間を短くする	始発便を早くする	最終便を遅くする	バスとJRとの乗り継ぎを便利にする	時刻表や路線図をわかりやすくする	駅の待合環境を改善する	その他
高校生全体(n=471)	65.6%	33.5%	46.1%	12.3%	3.2%	9.1%	14.6%	17.2%	13.6%	4.0%
倉吉東高校(全日制)(n=142)	71.8%	28.9%	38.0%	12.7%	2.8%	10.6%	11.3%	14.8%	16.2%	4.9%
倉吉東高校(定時制)(n=3)	66.7%	33.3%	33.3%		33.3%	33.3%		66.7%	33.3%	
倉吉西高校(n=85)	51.8%	23.5%	48.2%	11.8%	1.2%	7.1%	18.8%	23.5%	7.1%	5.9%
倉吉総合産業高校(n=81)	65.4%	33.3%	51.9%	6.2%	4.9%	2.5%	11.1%	16.0%	12.3%	3.7%
倉吉農業高校(n=27)	59.3%	40.7%	48.1%	25.9%	3.7%	3.7%	25.9%	7.4%	11.1%	
倉吉養護学校(n=2)			50.0%							50.0%
倉吉北高校(n=66)	68.2%	34.8%	56.1%	19.7%	6.1%	21.2%	9.1%	24.2%	12.1%	1.5%
湯梨浜学園高校(n=14)	71.4%	50.0%	42.9%	14.3%		14.3%	7.1%	14.3%	28.6%	7.1%
鳥取中央育英高校(n=32)	84.4%	56.3%	50.0%	3.1%		6.3%	28.1%	3.1%	18.8%	
琴の浦高等特別支援学校(n=19)	52.6%	52.6%	31.6%	10.5%			26.3%	21.1%	15.8%	5.3%

図 68 JR 山陰本線に関する改善要望事項

表 42 その他の回答

特になし、利用しないのでわからない	10
車両を増やす(通学・通勤時間帯)	4
JR同士の乗り継ぎを良くする	2
快速を増やす	1
家から駅まで遠い	1
交通系ICカード決済の導入	1
計	19

(5) 保護者が自家用車送迎をする理由（「送迎することがある」との回答者の集計）

- 自家用車送迎の理由については「雨や雪などの悪天候のため」を挙げる割合が最も高く、次いで「帰りが遅くなり、安全のため」「登下校時の時間に合う公共交通がないため」等の回答割合が比較的高い。
- 高校別に送迎理由を見ると、「登下校の時間に合う公共交通がないため」との回答割合が高かったのは倉吉西高校、鳥取中央育英高校、湯梨浜学園高校であった。

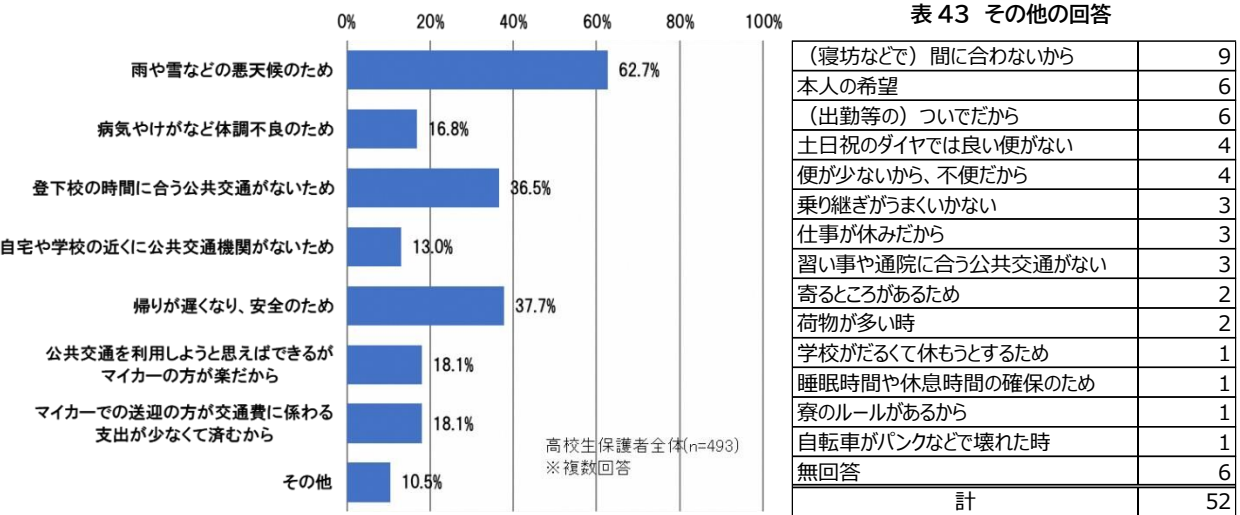


図 69 自家用車送迎をする理由

表 44 高校別自家用車送迎をする理由

	た雨 めや 雪 な ど の 悪 天 候 の	良病 の気 たや めけ がな ど 体 調 不	共登 交下 通校 がの な時 い間 たに め合 う公	共自 交宅 通や 機学 関校 がの な近 いく たに め公	の帰 たり めが 遅く なり 、 安 全	カと公 ー思共 のえ交 方ば通 がでを 楽き利 だる用 かがし らマよ いう	ががマ 少交イ な通カ く費ー てにで 済係の むわ送 かる迎 ら支の 出方	そ の 他
高校生保護者全体(n=493)	62.7%	16.8%	36.5%	13.0%	37.7%	18.1%	18.1%	10.5%
倉吉東高校（全日制）(n=158)	66.5%	19.6%	37.3%	12.0%	44.3%	22.2%	19.6%	9.5%
倉吉東高校（定時制）(n=4)	50.0%		25.0%	25.0%	75.0%	50.0%	25.0%	
倉吉西高校(n=95)	60.0%	14.7%	50.5%	12.6%	43.2%	11.6%	15.8%	10.5%
倉吉総合産業高校(n=98)	76.5%	15.3%	23.5%	11.2%	33.7%	11.2%	15.3%	7.1%
倉吉農業高校(n=35)	45.7%	11.4%	28.6%	14.3%	11.4%	34.3%	34.3%	11.4%
倉吉養護学校(n=3)		33.3%	33.3%	33.3%		66.7%		
倉吉北高校(n=44)	56.8%	13.6%	36.4%	9.1%	38.6%	20.5%	18.2%	15.9%
湯梨浜学園高校(n=17)	47.1%	23.5%	41.2%	17.6%	41.2%	11.8%	11.8%	29.4%
鳥取中央育英高校(n=26)	46.2%	11.5%	50.0%	19.2%	19.2%	19.2%	19.2%	7.7%
琴の浦高等特別支援学校(n=13)	69.2%	38.5%	15.4%	23.1%	46.2%			15.4%

4-4 行政機関ニーズ（アンケート調査結果より）

4-4-1 調査の概要

- 特に公共交通と密接な関係にある各市町の担当部署（教育部署、福祉・子育て部署、観光部署）に対し、以下のとおりアンケートを実施した。

表 45 行政機関アンケート調査概要

項目	内容
調査方法	○中部圏域1市4町の担当部署にアンケート用紙を配布 ○各部署における公共交通に関連した取組の状況、要望事項等を調査
実施時期	○令和6年8月

4-4-2 調査結果（主な意見）

（1）教育部署

- 児童数減少により、今後通学に合った路線バスのダイヤがなくなることを懸念している。
- スクールバスを運行していない地域や、バス通学対象地域外の保護者から、スクールバス利用の要望を受けることがあるが、バスの定員や費用面から全ての要望に対応できていない。
- スクールバスの運転手や添乗員の確保に苦慮している。

（2）福祉・子育て部署

- 住民から、地域内の活動拠点（コミュニティセンター等）までの移動手段を確保してほしいという要望が度々出ている。最寄りバス停もないため不便。
- 交通手段がないことで、地域や趣味の活動に参加することを困難にしており、高齢者の閉じこもりを誘発する原因となっている。
- 免許返納者、持病をお持ちの方などで通院や買物に困っており、連れて行ってもらえるサービスを求める声がある。
- 中山間地では、自宅からバス停や駅が遠く、高齢者の移動手段としての候補になるとは考えにくい。タクシーや地域共助交通への依存度がますます高まっていくと思われる。
- 障がい者向けのサービスはあっても、対応できる事業者が少ない。新たな施策を進めるなら障がい者にも利用しやすい制度にしてほしいとの要望があった。
- 免許や自由に使える自家用車を持っていない妊産婦や子育て中の方から、公共交通に関する相談を受けたことがある。
- 子育て支援センターとバス停が遠く、小さい子を連れてベビーカーなどでバス移動するのは大変。タクシー割引等があればうれしいという要望を受けた。
- 通園バスの運転手が高齢化しており、人材確保や運行委託が困難な状況。

（3）観光部署

- 観光地発着のバスがない。観光スポットが地域内の奥地にあり、公共交通が衰退する中で地域住民のみならず観光客の利便性も低下している。回送便で主要観光地のみを巡る快速やナイトバスなどの取組も検討されたい。また、バスに限らず移動手段の検討が求められる。
- 観光客視点では、路線バスの経路や時刻表が分かりにくいという苦情がたまにある。観光地とバス停の位置関係が分かるような総合的なパンフレットやウェブサービスの提供が必要。
- 鉄道ダイヤの利便性向上だけでも改善するのではないか。
- 駅での乗り場や料金等の表記が見づらく、また多言語対応もされていない。